

★★第2次鹿屋市総合計画 基本目標・基本施策等に対する自由意見★★

基本目標3 子育てしやすいまち

【基本施策】①子育て支援の充実

②未来につながる教育の充実

年代	自由意見
10歳代	電子書籍が導入されたことで、本を借りに行く手間が省けるのでいい。
	電子書籍の導入など、小さい子供が読書する習慣になっていくと思うのでいい事だと思います。医療費実質無料化もかなり助かっていると思います。
	小さい子や高齢者との交流が大事になると感じる。今後増えていく高齢者と親が仕事に行っている間に交流の機会を増やすと認知症対策にもなるしいと思った。
20歳代	公園が汚いが、子どもの目線は低いことから汚いものを見つけやすい。また、公園の場所を教えてくれる何かしてほしい。
	高校卒業後にすごくお金がかかります。その支援があったらとっても助かります。バイトしても足りません。
	不妊治療ができる病院をもっと増やしてほしい。
	まだ子どもがいないので、詳しい事は分からないのですが、不妊治療に関する助成金は、肝付地区がすごく充実していると聞いたことがあります。いずれは子どもがほしいと思っているので、鹿屋市も妊娠・出産に関する手当等が充実していったらうれしいです。
	子供が遊べる場所をもっと増やして欲しい。
	まだ子育てをしていないため、よくわからないが、期待したい。
	3歳からは保育料が無料だが、2歳までの保育料が高すぎるため、生活の為に働いているが、保育料で働いている意味がなくなる。
	医療費無償化は、窓口負担を無くせば、利用者も病院側も楽になるのではないかな。市役所も振り込みの作業が無駄ではないか。電子図書はどこでそのようなサービスがあるのか知らない。移動図書館もあるのを知っているが、どこで開設しているのか分からないため、案内をしてくれたら、利用したい。
	負担を減らしたい為。
	子ども医療費助成金制度が高校生まで引き上げられたのはすごくいいことだと思う。
生活必需品の確保や育児・教育環境については十分に整備されていると思う。ただ、やはり市自体の大きさと交通により制限されることが多く、子供達にとって貴重な経験をできる場というものが少なく感じてしまう。また、市内の子供達が成長した際にも鹿屋市内で勤労を行なってもらうためには市内での魅力的な仕事を目で見て体験する機会があればより活性化するのではないだろうか。	
30歳代	子育て家庭では思った以上にお金がかかるため、いろいろな無償化はありがたい。可能であれば、3歳以上の保育園無償化の年齢を引き下げてほしい。育休明けの1年目は認可保育園に預けても安くて助かっているが、2年目からの1年間でとてもじゃないが高くなりすぎていて、初めの保育料から5倍以上になるので、保育料を見直してほしい。
	電子書籍より、古すぎる図書館のリニューアルが必要。都城や志布志を参考にしてほしい。
	電子書籍は手にしやすいが、本のデザインやイラストなど、アナログ文化に触れることで刺激される感性も多くあるのではないかな。
	産後の訪問を受けた際、担当した職員の考え方を押し付けられ、嫌な思いをした経験があることから、産後の不安定な時にしっかりフォローしてくれるようなケアをしてほしい。

年代	自由意見
30 歳代	乳幼児健診では、話を聞いてくれる職員によってさまざまな意見があり、保護者、保健センター、園で意見の食い違いがある。
	子育てなどはしやすくても以前の環境をまずは考えていただきたい。次の世代も住みたいまちと思わせる様な取組を考えていただきたい。誕生日月にはクーポン500円券などでもありがたい。
	夏休み等の講座が毎年似てるものばかり。もう少し変化も必要。
	医療費無料ありがとうございます。
	どうしても Kindle 等の有料サービスと比べると劣る。子育てのためであれば、スマホやタブレットが必要な電子図書に重きを置くべきではなく、大人向けになる。電子図書より気軽に利用できる図書館や児童館を増やし、実物の本、絵本に触れさせる機会を作るべきであり、大人目線ではなく、子ども目線で考えてほしい。
	医療費無償化はとてもありがたいが、返金されるのであれば、窓口負担を無くしてほしい。
	子育て支援は母子、父子家庭にもありがたく、継続してほしい。
	18歳までの医療費無料は助かります。
	子育て支援は、とてもありがたいです。子どもにお金をかけられるのは、素敵な大人だと思います。情報化社会なので仕方なく、会社でも書類が電子化に変わりつつあり、必要だと思う。
	コロナ禍でしかたないかもしれないが、前に比べて「医者の診察がない」、「相談のみ」と雑になった気がする。発達障害(言葉が遅いかも)などのサポートができると言われるが、予約で埋まっており、来年度からでないといけない。説明も口頭だけでなく、紙ベースにして渡してほしい。1人で2人の子どもを連れて行くと子どもの動きが気になり説明を聞く状況でなく、一方的に喋られるとメモも取れない。興味があっても、家に帰ってからどのようにアクションを起こせばいいのか分からない。電子書籍は、広報誌で見ちゃって見たが、うまくできなかった。
	医療費が無償になってすごく助かっている。一度払って戻ってくるより、払わなくてよくなり、とても助かっている。
	児童手当が高校生から支給がないのは非常に困る。アルバイトもできるから支給されないのか。でも部活に専念している子はバイトもできないのに保護者はその遠征費や活動費に凄くお金がかかっている。社会人になったら嫌でも仕事しないといけない日が来るのに、青春できる高校生に「バイトをきなさい。」と言われてるみたいです。
	3歳児健診の後は就学前健診まで健診が無いのが残念。うちの子は就学前健診で引っかけり、もっと早く何か行動出来たのではなかと後悔した。なので4歳児健診もやって欲しい。
	子供が病気になった時に預けれる施設が少ない。
	ほぼ満足している。強いて言えば、医療費は後日口座振り込みを無くせば病院受診がスムーズ。(他市町に住んでいた時、会計での支払いが無くてとても良かった為。)
	18歳までの医療費無償化とても助かっています。
定期健診が実際の月齢より1ヶ月ほど遅れるため改善してほしいです。	
子供を産んでください。でもお金は出しません。という無責任な市ではなく、しっかりとサポートしてくれる市であれば、子育てしやすい街になると思うし鹿屋市に移住してくる方も増えると思う。	
医療費の実費を0円にして、負担を減らしてほしい。他県に住んでたときは実費0円だった。	

年代	自由意見
30 歳代	18 歳までの医療費無償化は、とてもいいと思いますが、出産時のお祝い金が近隣の町と比べると低い。
	まずは、産んでもらえるような仕組みづくりを期待したい。
	今時、医療費無償化はあたりまえ。子どもにお金がかかるので、所得制限なしの金銭的支援があれば助かります。
	そもそも収入が期待できないのに子育てしやすいはずがない。子供に関することの補償が他の地域や県に比べて手薄すぎる。
	0 歳からの保育料無料施策を検討してほしい。
	これは国の施策に大きな影響を受けると思うが、独自でできることとして、公立学校の給食費無償化をすとか、子育てにかかるお金の不安を一つでも取り除いてあげれば。
	子育てにかかる費用をもっと抑えられるようにして欲しい。
40 歳代	家族で楽しめるように、読書やコミュニケーションが取れる環境づくりに取り組んでほしい。
	小さい頃から、美術館、博物館など様々な本物、本格的なものに触れあう機会があったらいい。図書館など文化施設ゾーンがもう少し便利な場所にあったらいいと思う。
	難しい問題ですが、医療費の無償化には反対です。本当の健康づくりとは何か考える必要がある。子どもの体を薬漬けにする危険性を考え、西洋医学の光と影など、本質をよく考える時期にきています。電子書籍はタブレットの功罪である。視力の問題をさらに助長することになる。物や本に触れる感覚、本の匂い、新品、古本、質感等が育たないと思う。新しく楽で便利なことには、自然と人口は流れるものなので墮落するのは簡単。今こそ、図書館や本そのものに触れる取組にお金を掛けてほしい。「若い頃の苦勞は買ってでもしろ」ではないが、子どもを甘やかすだけでは、立派に育たない。目先の楽や利益が本当の幸せなののでしょうか。
	子育ては、向き不向きがあると思うが、助けてほしいと言えない人がいることに気づいてあげてほしい。助けを求める人は、愛があれば見たら気づけるはず。同情ではなく、愛を持って見てあげれば、少しは助けてあげられるかもしれない。教育の充実の本当の意味は何か。もっと底上げをしてほしい。
	鹿屋市の高齢化率は今後も高いと思うので、未来を担う子どもを増やすため、出産しやすい環境、地域で子どもを見守る環境が必要。
	夫婦共働きであるが、子どもが発熱し急に休まなければならない場合、休むのは女性ばかりであり、男性も子どものことで急に休みが取得できるような職場環境になるといい。
	こども図書館等増やしてほしい。こどもの頃から本にふれる機会がたくさんあった方がいいので。
	18 歳までの医療費無償化は病気を持つ子ども達の保護者にとっては、とてもありがたい制度です。病院代薬局代の間違いや請求ミスなどにより、医療費が返ってきていない場合があり、以前、気づいた頃には医療費の返金期間も過ぎている時もありました。様々な面で子育てが大変な親にとっては医療費が返ってきているかどうかの確認が大変な時もあります。医療費の窓口負担がなくなればもっとありがたいです。どうかよろしくお願いします。
	あそ VIVA のような、親子で交流できる場所、遊べる場所をもっと増やしてほしい。
保育園が年度末に閉園してしまう。保育園の事情も先生たちの職場環境のこともあると思うので仕方がないかもしれないが、保護者の勤務先も年度末で多忙となるなか休暇を取る難しさ、言いづらい。こういう小さなことが働きにくさ、どこを向いても心苦しく辛くなる。母親の母親として、職場で働く女性として、主婦としての当たり前前の仕事が多すぎる。	

年代	自由意見
40 歳代	医療費の無償化はありがたいです。子育てで大変な時期は、入園前～小学校低学年かと思います。私はパートとお迎えや病院や園行事などで本当に大変で、細かいことを覚えてません(きっとみんなそうだと思います)。子育てしやすかったのかと聞かれてもぼっと浮かびません。大きくて広々とした図書館があればな…といつも思っていました。母親の癒しとなる場所が欲しかったです。電子書籍はある程度の年齢からでいいと思います。
	定型発達の子達に関しては子育てしやすいと思う。発達障がいがある子達を育てるには、少し風当たりが強い風潮があるのが現状だと思う。発達障がいについて知らない人が多すぎると思う。なにそれ？結局育て方が悪いんでしょ？と思ってる方が多すぎるので、もっと広めてもらえたら育てやすくなるのではないかと思う。
	医療費無償は本当に助かるので。
	興味がない。
	沢山の子育て世代の方にきいみたら、よいかと。
	小さい子供が居ないので今の活動の状況は分からないが産後ケアの体制が不十分だと思う。
	電子書籍の数をふやしてもらいたい。
	完全に子育てしてるだけの人が使えるサービスなどはあるが、働きながら子育てしている人に便利なサービスがほぼ無いし利用出来ない。子育て=専業主婦というような概念はいつになったら無くなるのかと思う。私自身が、働きながら子育てしていて保育園の申込に行った時に、対応した職員が間違っ事を伝えていた為、希望の園に入れなかった事はずっと忘れないし、本当にどうにかして欲しいと思う。子育てしてて、なおかつフルタイムで働いて税金納めているのに、優遇されてるのが扶養されてる専業主婦という事が納得行かない。鹿屋市に税金納めたくない。
	医療費助成はとてもありがたいです。次は小中学校の給食は無料を頑張ってほしいです。子ども手当がもらえない子供に補助とか…親の所得で子供が差別にあっている気分になるので。
	産後の助産師さん訪問はとても助かりました。
	医療体制が不十分な状態であり、改善する方を優先する必要がある。
	医療費の無償化は非常にありがたい。児童センターが近くにあり、何度も利用している。平日も育児中の方が集まり、情報交換の場となっているようである。
	特に子供にマスクはデメリットの方が多く、間違っていると思います。電子書籍は視力低下につながりそう。
	小学生の置き勉よりも iPad 等に教科書をダウンロードできるようにして欲しい。紙媒体の削減をすることで環境保護にもなると思う。
	お金がかかるのは小さいうちだけじゃないので他県で実施してる塾などの補助も検討して頂きたいです。
	高校、大学の支援金が欲しい。
子供を育てるのにハードルが高いと思う。核家族化や地域社会の衰退でそれらの役割が期待出来ないので、出来ればみんなで支え合う新しい体制や設備があればと思う。	
期待してますよ。産後ケアはとても大切なことです。産後に鬱病を患う方もいらっしゃいます。産んで終わりではありません。始まるのですから少子化対策も兼ねてもっと力を入れて下さい。	
18 歳までの無償化はとても良い。あとは広報強化ですね。池崎さんお願いいたします。電子図書館は、鹿屋市 LINE からスマートにログインするデザインへ変更はどうでしょうか。	

年代	自由意見
50 歳代	保育園が少ない。
	一人親家庭で 23 年間子どもを育ててきたが、世の中全体が恵まれてきたと感じる。一人親家庭で大学進学は無理ということでしょうか。本当に苦しいですが、頑張っ
	て通わせています。
	肝付町では、プログラミングを子どもに無料で教える機会があるとのことで、ぜひ
	鹿屋市でも取り組んでほしい。
	子育てには、生活費がかかるので、助成金などの支援に力を入れてほしい。
	電子書籍を登録したが、読みたい本が少なかったことや人気の本は予約待ちが長
	かったが、返さなくていいことは便利であった。
	電子書籍は民営企業の物で十分。教育の IT 化の促進と人材育成が必要。
	子どもも遊ぶところがなくて、家でゲームしていて、習い事が多くて、子どものス
	トレスが多くなっている。若くても老人でも一緒に集落で遊び、相撲、ホテル、小
	運動会も行えたらいいです。
	無償化も良いが財源は有るのか。未来への借金が残るので有れば問題かと。人口減
	で負担増。
	最近は子どもも成長したので取り組みに気づけることは少ないですが、子育ては
	しやすかったです。これからはお金の補助を各自にするのではなく、保育園や学童、
	障害のある子どもたちを預かる施設の充実や、作業所をもっと増やしたほうがい
	いと思います。高校の専門性の充実も。就職に夢を持つには、まず高校に魅力があ
	って専門的知識を身につけられてこそ夢も広がると思います。
	図書館が古すぎると思います。いろんな町の図書館は明るく蔵書も多く、広くて綺
麗で居心地がいいです。図書館に長居できない街で、子どもたちの学力の伸びは低	
いと思います。県内で上位の図書館や、体験施設の充実を希望します。	
子育て中の市民の声をもっと聞いて欲しい。小さなコミュニティに行政が足を向	
けて、市民からの声を待つのではなく、声を拾いに行き、何が足りないか探り思案	
すべき。	
子育ては終えた世代なのであまり関心がない。	
小学生を育てていますが「子育てしやすいまち」だと実感しています。ただ学校の	
デジタル化がまだまだですね。	
保育園の確保。	
予防接種などもう少し地域ごとに分けてくれたほうが保健師さんなど身近に感じ	
られるのでは…。	
電子書籍を導入したところで、読みたいという人間がいなければ徒労になるだけ、	
読み手の育成こそが重要では。	
18 歳以上でも大学生や専門学生までは医療費無償化があると助かる。	
子育てに対する不安をどのように軽減するか期待したい。	
教育の標準化を実現してほしい。家庭の事情に左右されないような施策を思い切	
ってすべきである。	
待機児童多すぎ、市役所担当者も本気で探してくれない。	
教育施設の改修。男女共用のトイレがある、空調設備が整っていない。大型バスが	
敷地内へ入れない（校門の拡張で解決可能）、教室数の不足。設備の充実。備品の	
老朽化・数の不足、印刷機器の不足（拡大機・カラー印刷）。	
サービスの充実はいいが、無償化や現金給付はキリがない。どこまでも、より増額	
を求められる。働く人の給与・賃金が一定レベル以上になり、自治体などに支援を	
求めず自立した生活、子育てができるようになることが大事。	

年代	自由意見
50 歳代	夫婦共働きが多い中、どうしても子育て女性が仕事から家事までの負担が多いと思う、そこをサポート出来る仕組みを鹿屋市が考えて貰えば！
	どっちがいいかわかりませんが小学校は私服でもいいと思います。
60 歳代	学習センター等の利用年齢が4歳になると利用できなくなるが、兄弟で行く場合のことなどを想定しているのか。
	安心して子どもを育てられるようにしてもらいたい。書物を読む機会が増えていいと思う。
	最近、他市町の子どもの医療費無償化を耳にするようになった。電子書籍の取り扱い方法等を受講できる場所を設置してほしい。
	年の離れた子どもが4人いたが、長期間養育費が掛かり、保育園も年が近い方が優遇されており、うらやましかった。子どもが増えて、長子が年齢に達しても児童手当が変わらずに、それぞれの金額で支給されるとありがたい。
	保育士として働いているが、今の子どもたちは朝ご飯を食べてこない子やお風呂に入れてもらえない子など、愛情を受けていない子が多い気がする。市と園が連携し、子ども達と親を支援できないかと思う。
	老人のグランドゴルフ場より子どもたちの遊び場の確保が必要。
	子育て支援に力を入れることはいいが、医療費を無償化しても子どもは産まないと思うため、高齢者からみたら1割くらいにしてほしい。
	子育て支援とは無償化だけが支援なのだろうか。電子図書で本屋が無くなっているのだろうか。共働き家庭は当たり前のようになっているが、家族が一緒にご飯を食べ、話せる時間を作れるよう考えることも大切かと思う。
	医療費は100円でも支払うことで無償化という感覚にならない。自分の子どもは自分で育てる意識を持ってほしい。 子どもの読書とあわせて、親世代にも読書の大切さを広めてほしいことから、電子図書は有効だと思う。
	子育て以前の取組に力を入れてほしい。妊活など国の支援を聞いても認められない項目が多いと聞く。各々にあった治療を細やかにフォローすることが必要。子ども支援と聞いて憤慨している人がいると聞く。あまりにも支援することで、誰の子どもなのかとを感じる。自分が子どもを育てていたころとは全く違う気がする。
	お年寄りにも何か対策をしてほしい。親の介護をしてる人、し終わった人にもケアをしてほしい。就職とかしやすいように。
	子育ては終わっているのに、孫たちの為に少しでもいい教育環境を整備してほしい。
	コンパクトでも構わないので、子ども達が集まって遊べる、親子で楽しめるような魅力的な場所を希望。室内でゲームをしているのか、外で遊ぶ子供たちをあまり見かけない。
	働きたくても保育園が空いておらず、困っている方がいる。
	電子書籍はどこでもできる、やっていること。もっと有効に活用するための企画を望む。読書会など市主催でコンスタントに開催して読書環境を作っていくことからやってみてはどうか。
子育て支援の充実は、子育ての時期が終わったので、あまり内容を知らない。ただ、隣にも小さな子供さんを2人育てている方がいらっしゃるの、このコロナとあいまって、かわいそうだなと同情している。と言うのも、自分の時はとなり近所、同じような子どもたちがたくさんいたので、皆一緒に遊んでいた。今、この地区は、60～70代の高齢者ばかり。	
未来につながる教育の充実は、1週間から10日に一度図書館に行っている。電子書籍を見るためのスマホの使い方を知らない。また、どういうのが電子書籍になっているのか。小説の類は読まないで、大字本も小説ばかりだし。	

年代	自由意見
60 歳代	東京都は 18 歳まで 1 人毎月 5 千円ずつ配るとのこと。鹿屋市はどうでしょうか。
	小さい子供を少しの時間預けられる場所が欲しいです。
	18 歳までの医療費無償化など、なんでもかんでも無償化にするのはいかがなものか。
	医療費無償化は 7 歳くらいまででいいと思う。
	コロナ禍で子育ての大変そうであり、親も子も生活が忙しそうだ。
	子育て支援センターの充実。
	財源があるのか。
	高齢者ばかり予算を使わず、給食無料等、若い世代に予算を使うべき。ダイワ跡に図書館や美術館を整備し、市民がもっとアクセスしやすい環境が必要。
	最近、読書する子供が少ない中、ゲームの方が多く感じる。
	期待したいが、18 歳を越えると鹿屋市から出ていく人たちにいくら支援しても。電子書籍には、期待する。
	子育てしやすい市に期待しています。
	まず、デジタルを知ることが大事と思う。
	子育てはしやすい町だと思う。
	子どもは宝。
	孫のため。
	給食費の無償化、保育料の無償化など検討してほしい。
	70 歳代
子育てには、地方ののびのびした環境が良いと思う。	
時間がある。	
独身のため興味ありません。	
医療費の無償化、とてもいいことだと思う。子育てのお母さんに対するサポートも転勤で来られた方や子どもと一緒にいるお母さん方も知らない方々とのコミュニケーションの場があるということは助かると思う。	
医療費の無償化は子育てに必要なことである。	
3 才までの保育料無償化とか、できればとても子育てにつなげて子供も増えていくのではと思う。	
学習センター内に乳幼児の病児保育の施設を設置してほしい。	
電子書籍については目が疲れるので利用していないが、良い取組だと思う。	
本を読む子どもはどんな環境でも読んでいるが、興味のない子どもの導入口になれば、電子図書も手軽で効果があると思う。	
学童・保育園等の待機なし！預かり時間の延長も視野に！	
世間全体が電子化だからと言って、電子書籍の導入はいかがなものか。エネルギーの無駄遣いではないか。エネルギー不足なのでは。	
日本の今後についても、とても大切な目標であると思う。若い人たちが、子どもを産み育てる気持ちになれるような環境を作るため、財源を多く使ってほしい。	
学校で使用するタブレットもいろいろな情報が入っていていいと思うが、字を書かない、一方的、知識、うまく活用すればいいとの意見もあるけど、健康被害(目)もいわれているので、全面的に賛成はできません。	
たまには広報誌で図書館の利用率等を取り上げてみてはどうですか。市民に分かりやすく、数字を並べただけのものは伝わらない。	

年代	自由意見
70 歳代	鹿屋に大学が必要。
	乳幼児や子どもは、高齢者と同様に病院通いが多いことから、子育て世帯にとっては大きな助っ人になるのではないかと。また、3人目からは大学卒業まで支援できれば、人口増加につながると思う。他との差別という意見もあると思うが、未来への投資、施策として許容できると思う。
	少子化が進む中、住みやすい育てやすい環境整備が必要。
80 歳以上	重要なことなので頑張ってほしい。
	子育て支援は目に見えにくい。
	子育て支援は、今が非常に大事な時期だと思う。
	子育てはしっかりやるべきである。電子で読む力がつくのか。紙でないとダメじゃないか。
	市政のこと、具体的にはよく知っていないために適切な意見が述べられず、すみません。平和な子どもの多い鹿屋であって欲しいです。